

情勢分析レポート No.24

習近平時代の中国経済

大西 康雄

アジア経済研究所
IDE-JETRO

目次

まえがき

| | |
|-------------------------------|----|
| 序章 習近平政権をみるポイント | 1 |
| 第1節 「中国の夢」の登場 | 2 |
| 第2節 改革・開放の現状評価 | 4 |
| 第3節 改革と開放の連動の復活 | 8 |
| 第4節 習政権の特徴——これまでの政権との比較において—— | 11 |
| 第1章 経済の現況と課題——前政権からの継承と発展—— … | 15 |
| はじめに | 15 |
| 第1節 江政権の経済的課題と対応 | 16 |
| 第2節 胡政権の経済的課題と対応 | 21 |
| 第3節 中長期的課題の顕在化 | 29 |
| 第4節 第12次5カ年長期計画と政策論議 | 34 |
| 補節 足下の経済状況 | 37 |
| 第2章 国内改革の現況と課題 | 41 |
| はじめに | 41 |
| 第1節 3中全会決定の構成とねらい | 42 |
| 第2節 市場経済化の再始動 | 45 |
| 第3節 中央・地方関係、都市・農村関係の改革 | 51 |
| 第4節 対外開放の新構想 | 54 |
| 第5節 国内改革の今後 | 56 |
| 小結 | 60 |
| 第3章 対外開放の新構想とそのねらい | 63 |
| はじめに | 63 |
| 第1節 対外開放と自由貿易試験区 | 64 |

| | | |
|-------------|-------------------------|------------|
| 第2節 | 対外経済ポジションの変化とFTA | 70 |
| 第3節 | 対外開放をめぐる論争と新構想 | 74 |
| 第4節 | 対外開放のバージョンアップ | 78 |
| 小 結 | | 80 |
| 第4章 | 都市・農村一体的発展戦略の行方 | 83 |
| | はじめに | 83 |
| 第1節 | 3中全会決定にみる都市と農村の発展戦略 | 84 |
| 第2節 | 新型都市化の内容と課題 | 87 |
| 第3節 | 都市・都市群の発展計画 | 92 |
| 第4節 | 「新型都市化計画」の評価 | 95 |
| 小 結 | | 99 |
| 第5章 | 第13次5カ年長期計画 | |
| | ——策定に向けた課題と展望—— | 101 |
| | はじめに | 101 |
| 第1節 | 13・5長期計画の策定作業開始 | 102 |
| 第2節 | 12・5長期計画の中間評価 | 108 |
| 第3節 | 13・5長期計画に向けた中央政府のスタンス | 110 |
| 第4節 | 経済関係会議の内容と13・5長期計画 | 113 |
| 小 結 | | 120 |
| 終 章 | 習政権の行方と日中経済関係の展望 | 123 |
| 第1節 | 「旧常態」からの脱却 | 124 |
| 第2節 | 二つの「中高」目標と改革・開放 | 125 |
| 第3節 | 腐敗退治と改革・開放 | 126 |
| 第4節 | 日中経済関係の現状と今後 | 132 |
| | おわりに——結語にかえて—— | 140 |
| 参考文献 | | 144 |

執筆者紹介

大西康雄（おおにし やすお）

1977年早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。同年アジア経済研究所入所。1986年から1988年まで在中国日本国大使館専門調査員。1997年から2000年まで中国社会科学院工業経済研究所客員研究員。2008年から2011年まで日本貿易振興機構上海センター所長。現在、同アジア経済研究所新領域研究センター・上席主任調査研究員。

主著に『中国・ASEAN 経済関係の新展開——相互投資とFTAの時代へ——』（編著、アジア経済研究所、2006年）、『中国胡錦濤政権の挑戦——第11次5カ年長期計画と持続可能な発展』（編著、アジア経済研究所、2006年）『東アジア物流新時代——グローバル化への対応と課題——』（共編著、アジア経済研究所、2007年）、『中国 調和社会への模索——胡錦濤政権二期目の課題——』（編著、アジア経済研究所、2008年）、『習近平政権の中国——「調和」の次にくるもの——』（編著、アジア経済研究所、2013年）。

研究所HP <http://www.ide.go.jp/Japanese/Researchers/onishi-yasuo.html>.

【表紙写真】

春節休暇を終え、職場へのUターンのピークを迎えた武漢駅（2015年2月23日）（Imaginechina/時事通信フォト）

[情勢分析レポート No.24]

習近平時代の中国経済

2015年7月24日発行

定価 [本体 1,400円 + 税]

著者 大西 康雄

発行所 アジア経済研究所

独立行政法人日本貿易振興機構

千葉県千葉市美浜区若葉3丁目2番2 〒261-8545

研究支援部 電話 043-299-9735

FAX 043-299-9736

E-mail: syuppan@ide.go.jp

<http://www.ide.go.jp>

印刷所 康印刷株式会社

表紙デザイン 康印刷株式会社

既刊案内

「情勢分析レポート」

(表示した価格は本体価格です)

| | | |
|----|--|---|
| 23 | インドの第16次連邦下院選挙 ナレンドラ・モディ・インド人民党政権の成立 | インドでは2014年の総選挙で国民会議派の与党連合が大敗し、ナレンドラ・モディが率いるインド人民党連合が政権に就いた。与党大敗の原因を探り、新政権の行方を展望する。 |
| | 近藤則夫編 2015年 207p. 2,000円 | |
| 22 | タイ2011年大洪水 その記録と教訓 | タイの2011年洪水は日本にも大きな打撃を与えた。本書はこの自然災害を学際的な観点から概説する。洪水発生の原因や状況、タイの経済や社会への影響などを記録し、タイ政府が進める洪水対策について説明する。 |
| | 玉田芳史・星川圭介・船津鶴代編 2013年 207p. 1,900円 | |
| 21 | 2012年ベネズエラの大統領選挙と地方選挙 今後の展望 | 2012年の選挙結果からは、その直後のチャベス大統領死去や後継政権誕生後の展望を占ううえでの重要な情報が読み取れる。2つの選挙後の目まぐるしい情勢変化についても概説する。 |
| | 坂口安紀 編 2013年 132p. 1,200円 | |
| 20 | 習近平政権の中国 「調和」の次に来るもの | 2012年秋の共産党大会、2013年春の全国人民代表大会を経て習近平政権が本格始動した。習政権は、直面する内外の課題を克服して中国を世界第2の大国に押し上げ得るのか。多面的に分析を試みる。 |
| | 大西康雄 編 2013年 163p. 1,500円 | |
| 19 | 中東地域秩序の行方 「アラブの春」と中東諸国の対外政策 | 「アラブの春」は中東の地域バランスにどのような変化をもたらすのだろうか。中東9カ国の対外政策と国内統治の動向を検討することで、「アラブの春」以降の中東地域秩序の変動を考える。 |
| | 土屋一樹 編 2013年 197p. 1,800円 | |
| 18 | 馬英九再選 2012年台湾総統選挙の結果とその影響 | 台湾では2012年1月に総統選挙が行われ、国民党の馬英九が再選を果たした。馬の再選はなぜ可能だったのか。台湾と中国の関係を軸に、政党的構造や戦略にも分析を加えながら読み解く。 |
| | 小笠原欣幸・佐藤幸人編 2012年 131p. 1,200円 | |
| 17 | 転換期のベトナム 第11回党大会、工業国への新たな選択 | ベトナム共産党の第11回党大会が2011年1月に開かれ、政治・経済・外交にわたる今後の基本方針が定められた。同党大会とその前後の状況、文脈を、多角的な観点から読み解く。 |
| | 寺本実編 2012年 187p. 1,700円 | |
| 16 | ラオス人民革命党第9回大会と今後の発展戦略 | 2011年に行われたラオス人民革命党第9回大会、第7期国会議員選挙、第7期第1回国会という一連の政治イベントを多角的に分析し、今後のラオスを展望する。 |
| | 山田紀彦編 2012年 145p. 1,300円 | |
| 15 | 朝鮮労働党の権力後継 | 金正日の後継者が継承する朝鮮労働党の政治理念を明らかにするとともに、朝鮮民主主義人民共和国の現実を、国際環境、マクロ経済、党の対外経済政策、貿易・投資状況の諸側面から分析する。 |
| | 中川雅彦編 2011年 161p. 1,500円 | |
| 14 | 2009年インドネシアの選挙 ユドヨノ再選の背景と第2期政権の展望 | 2009年インドネシアの選挙と第2期ユドヨノ政権を多角的に分析。 |
| | 本名純・川村晃一編 2010年 191p. 1,800円 | |
| 13 | パキスタン政治の混迷と司法 軍事政権の終焉と民政復活における司法部のプレゼンスをめぐって | パキスタンの政治変動における司法部の役割を分析。 |
| | 佐藤創編 2010年 112p. 1,100円 | |